

都市計画道路 城山多古線他 街路整備事業

1 事業の目的

本事業は、県西地域における道路ネットワークの強化と、周辺道路の渋滞を緩和するなど、交通の円滑化を図ることを目的とし、小田原市中心部から同市北部へ連絡する「都市計画道路 城山多古線」と、「都市計画道路 小田原山北線」の一部を一体的に整備するものです。

事業区間は、既に供用(完成)している「城山多古線の山神下交差点」から「小田原山北線の穴部駅入口交差点」までの延長約1,000mであり、平成25年(2013年)より用地取得等に着手しています。

現在は、城山多古線のトンネル工事(延長約220m)や、トンネル終点側の法面整備工事(起点側は昨年完成)を実施しているところです。

なお、城山多古線には、「埋蔵文化財包蔵地(※)」が分布しており、その箇所は工事の前に、埋蔵文化財調査が必要であることから、着工までには時間を要していました。

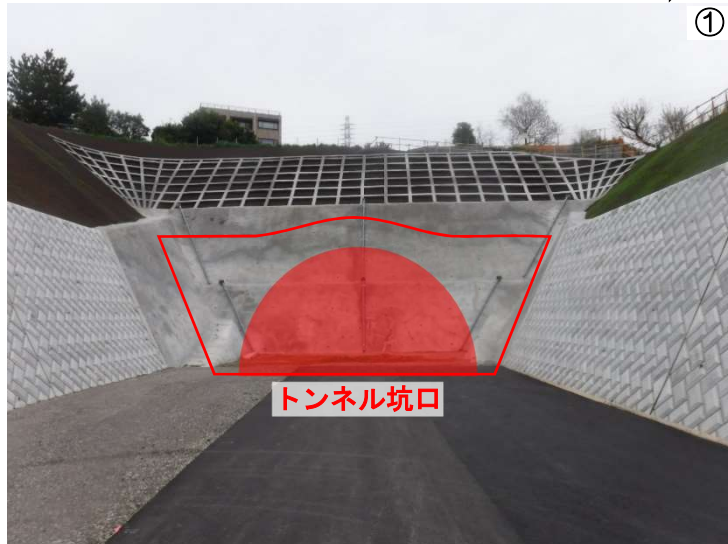
〔※その土地に、遺跡等の文化財が埋蔵されている場所のこと。「文化財保護法」では、土木工事等で現状のまま保存できない場合は、発掘調査を行い、記録保存することとなっています。〕

今後も引き続き、小田原市の関係部局等と連携しながら、工事を推進していきます。

2 事業の概要

- 事業箇所：小田原市久野～穴部 地内【位置図・平面図参照】
- **事業延長：約1,000m**【城山多古線 約400m、小田原山北線 約600m】
- 計画幅員：W=11.25m(城山多古線)・W=15.5m(小田原山北線)【横断面図参照】
- **供用目標：令和7年度(2025年度)**

3 現況写真 (位置図・平面図記載 ⇨)

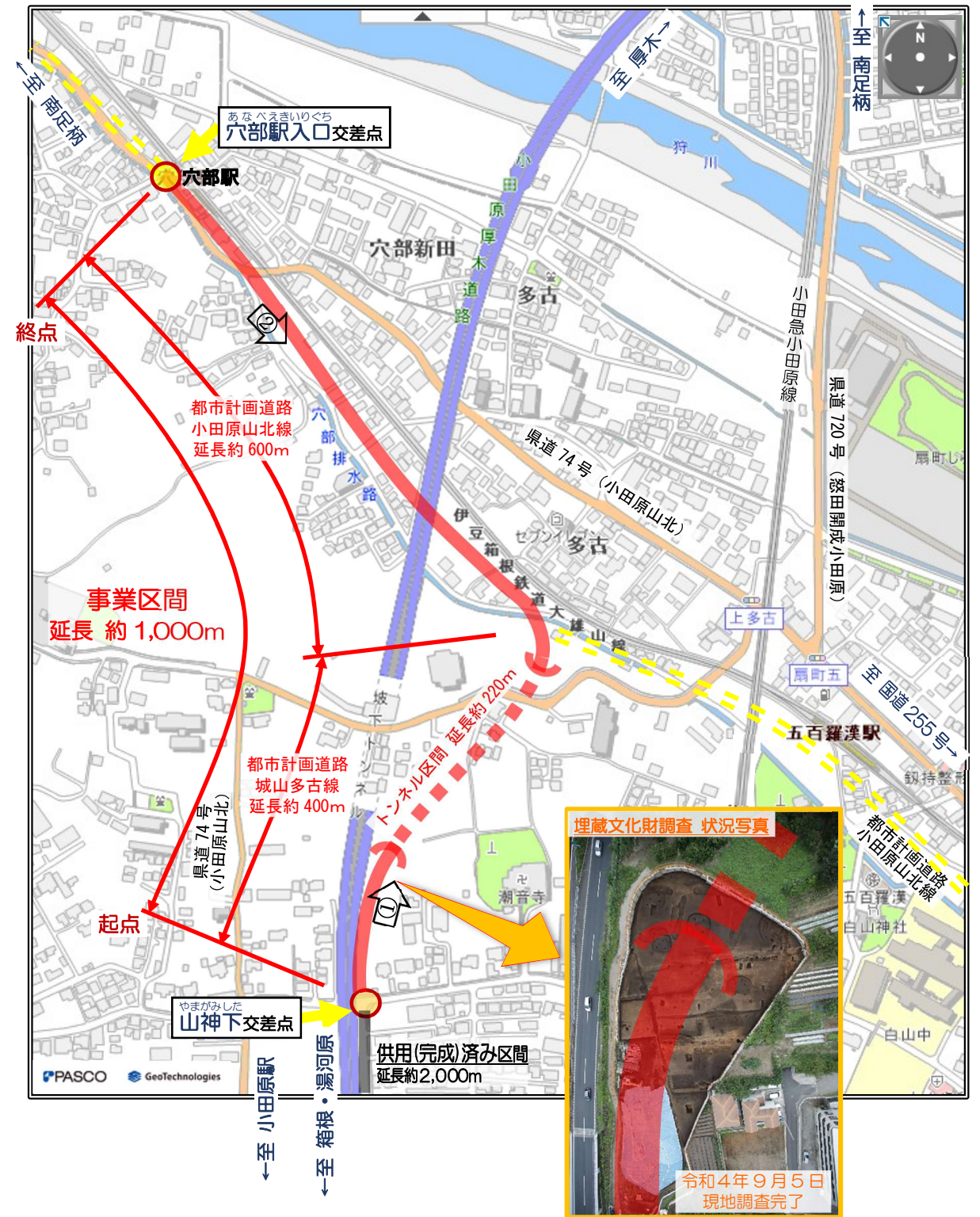


↓ 至 小田原駅



↓ 至 南足柄

4 位置図・平面図



5 横断面図

